

定例部長会議開催結果 概要

●日 時	令和 6 年 7 月 2 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 25 分まで			
●場 所	3 A 会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 内田副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 税務担当部長	■ くらし安心部長
	■ 文化スポーツ 部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長
	■ はだの魅力づく り担当部長	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長
	■ 教育部長	■ 消防長		
進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長				
●会 議	1 市長あいさつ			
	2 協議事項			
	(1) 令和 7 年度県の施策・予算・制度等に関する要望について			[総合政策課]
	3 報告事項			
	(1) 市制施行 70 周年記念市民アイデア事業への支援等について			[総合政策課]
	(2) マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業について			[消防管理課]
	(3) みらいの学校整備指針（案）について			[教育総務課]
	(4) 指定管理者の令和 5 年度事業報告等について			[行政経営課・公園課・文化振興課・スポーツ推進課・こども育成課]
	(5) 令和 6 年度 6 月期人事評価の結果について			[人事課]
	(6) 気候変動適応法の一部改正による本市の対応について			[健康づくり課]
●会議概要	(7) 秦野市休日夜間急患診療所等整備検討会について			[健康づくり課]
	(8) 令和 6 年度空家対策について			[交通住宅課]
	(9) これまでの移住・定住促進事業の検証について			[交通住宅課]
	(10) 土地利用委員会調整部会の審議案件について			[開発指導課]
	4 その他			
	1 市長あいさつ			
	・今年の開東甲信地方の梅雨入りは、平年より 2 週間ほど遅くなったが、本格的な梅雨の時期を迎え、毎日蒸し暑い日が続いている。熱中症に注意するなど、体調管理には十分留意し、職務に励んでいただきたい。			
	・先週 28 日の大雨は、市内でも最大 60 分雨量 51.5mm を記録し、土砂流出 5 件、倒木 1 件、道路損傷 2 件などの被害が生じた。			
	・最大 65 名以上の職員が災害対応に従事したとの報告があったが、休日夜間の対応に当たっていただいた職員に感謝する。梅雨時は、長雨や集中豪雨で土砂災害が発生しやすい季節であるため、引き続き、日頃からの対策をお願いしたい。			
	・今年、アメリカ・パサデナ市と姉妹都市提携 60 周年を迎え、先月 18 日から青少年演奏団が 12 日間、21 日から市民訪問団が 7 日間、秦野市を訪問された。			
	・23 日の記念演奏会では、クアーズテック秦野カルチャーホール・大ホールほぼ満員（約 1,100 人）のご来場をいただいたほか、様々な交流事業を行っ			

た。滞在期間中、所管課をはじめ、アテンドした職員に感謝する。

・先月 25 日に 6 月議会が閉会し、翌 26 日に二市組合議会も無事終了した。提案した全ての議案を可決いただき、報告案件なども全て承認をいただくことができた。

・4 月異動のあった部長や新任の部長も、これまでの経験に裏打ちされた万全な準備もあって、落ち着いて答弁をされていた。引き続き、自己研鑽に努めてもらい、より一層、力を発揮していただきたい。

・また、決議や委員会を含め、議会で指摘された事項については、適切な対応をお願いする。

・昨日、秦野市、厚木市、伊勢原市、愛川町、清川村で構成する「広域行政連絡会」を開催し、ここに小田急電鉄、神奈川中央交通、中日本高速道路、神奈川新聞社、横浜銀行、松蔭大学が加わり、「県央やまなみ協議会」として、民間を取り込んだ新たな広域行政の展開をスタートさせた。

・従来の枠組みにとらわれず、秦野市の飛躍・発展のため、企業や大学・学校等と様々な分野で連携しながら、魅力あふれるまちづくりを進めていきたい。

・地区別市政懇談会について、今年度は、7 月 7 日の西地区を皮切りに、8 月 8 日の北地区まで、市内 8 地区の市政懇談会が開催される。

・地区ごとに、それぞれ具体のテーマが挙げられると思うが、案件ごとに、これまでの経過、現在の状況をしっかり整理した上で、将来も見据えながら、分かりやすく丁寧な説明ができるよう、準備をお願いしたい。

・出席者は、夜間、休日の対応となるが、市民の生の声を聞く絶好の機会であるため、よろしくお願いしたい。

・4 月 1 日異動から 3 か月が過ぎた。順調に仕事になじんで力を発揮している職員は、さらに能力を発揮できるようアドバイスをしていただきたいが、一方では、必ずしも順調とはいかない職員もいると思う。

・適度な声掛けや目配りにより、職員の変化をしっかりと把握してもらいたい。特に、新採用職員は、急に環境が変わり、適応できないケースもあろうかと思うため、部課長が連携して、人材育成に取り組んでいただきたい。

・皆さんが適切な指導をするためには、自身に「心のゆとり」が必要であり、そのためには、できる限り連続した休暇を取るなど、心身ともにリフレッシュしていただくことが一番だと思う。

・まだまだ暑い日が続くため、体調を崩さないよう、オンとオフを上手く切り替えながら、仕事に臨んでいただくことをお願いする。

2 協議事項

(1) 令和 7 年度県の施策・予算・制度等に関する要望について

[総合政策課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 要望の並びについて、新規の要望が後ろになっているが、分かりや

すい並びにする方が良いのではないか。新規は順序を後ろにする方針があるのか。

答．所管部局の順番で並べている。

意見．要望を聞く側の立場に立って順番を考えてもらいたい。

問．水道施設の耐震化については、重点要望に入れないのか。

答．重点要望が多くなってしまうことも踏まえ、様子を見ながらと考えていた。

意見．問題がなければ、水道施設の耐震化は重点要望としてもらいたい。

問．重点要望の9「県道 701 号（大山秦野）の改良について」が一般要望から重点要望に変更された理由はどのようなか。

答．伊勢原市とともに強く要望するため、両市で足並みをそろえたものである。

3 報告事項

(1) 市制施行70周年記念市民アイデア事業への支援等について

[総合政策課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(2) マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業について

[消防管理課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問．協力救急医療機関に秦野赤十字病院とあるが、実証実験なので1か所のみなのか。他の医療機関にある情報を確認することは出来ないのか。

答．国の提供する「オンライン資格確認等システム」へアクセスするためには、そのシステムが導入された医療機関から救急隊員への権限付与が必要であり、その権限付与に協力する医療機関が秦野赤十字病院ということである。システムへアクセスすることが出来れば、医療機関に関わらず、情報を閲覧することが可能となっている。

問．情報の閲覧には同意を得るということだが、傷病者の意識がない場合はどうなるのか。

答．意識がない場合は、国からはマニュアル上、閲覧可能との取り決めがされている。

問．マイナンバーカードの健康保険証利用登録について、担当部局との連携状況はどのようなか。

答．資料2のようなリーフレットを作成し、マイナンバーカード発行時に、所管課において渡していただくよう協力を依頼している。

意見．保険証の利用登録をしてもらうことをしっかり周知していかなくてはならないと思うため、担当部局と連携して進めてもらいたい。

(3) みらいの学校整備指針（案）について [教育総務課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(4) 指定管理者の令和5年度事業報告等について

[行政経営課・公園課・文化振興課・スポーツ推進課・こども育成課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. それぞれの施設で勤務する従業員について、離職率等労働に関する状況はどうか。

答. 社会保険労務士による労働条件審査として、職場環境や待遇といったものの状況を実際の従業員にヒアリングすることをモニタリングの中で実施している。昨年度は、カルチャーパーク、NITTAN パークおおね、カルチャーホール、クライミングパークについて実施し、今年度は野外活動センターにおいて実施する予定となっている。

結果は、施設の所管課を含め指定管理者制度の取りまとめ課でも把握している。

意見. 働き方改革等よく言われることではあるため、留意して進めてもらいたい。

(5) 令和6年度6月期人事評価の結果について

[人事課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(6) 気候変動適応法の一部改正による本市の対応について

[健康づくり課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(7) 秦野市休日夜間急患診療所等整備検討会について

[健康づくり課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(8) 令和6年度空家対策について

[交通住宅課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(9) これまでの移住・定住促進事業の検証について

[交通住宅課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 制度利用者の中で、立地適正化計画の「居住誘導区域」の中に居住

することとなった人の割合は把握しているか。

答．数字としては持っていないが、利用者の住所は把握できているため、あてはまる人を確認して割合を出すことは可能。後ほど報告する。

(10) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

[開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問．３ページの６番について、出入口はどこにつける予定か。

答．土地が面している道路のどちらにも１カ所ずつ作られる予定である。

意見．いずれも勾配のある道路であり、交差点も近いことから、交通安全という点をしっかりと打ち合わせして進めてもらいたい。